

## 平成27年度事業の点検・評価及び平成28年度事業計画（概要）

『愛知県図書館の基本的な運営方針』（平成26年8月策定）の「Ⅴ 事業計画の策定と点検・評価」に基づき、平成27年度事業計画の達成状況について、点検・評価を行いました。

今年度は昨年度の3段階の評価を5段階評価に改め、具体的には A：計画を大きく上回った(120%以上)

B：計画をやや上回った(110%) C：計画どおり(100%) D：計画をやや下回った(90%)

E：計画を大きく下回った(80%以下)としました。

役割	項目	行動 目標数	評価					D評価項目達成状況	平成28年度事業計画での対応
			A	B	C	D	E		
1 すべての県民への図書館サービスの提供	1 どこでも、いつでも、誰でも、使える図書館	7	1		4	2	(3) 行動目標「雑誌を協力貸出の対象とし、市町村立図書館で利用できる用にします」に対して、貸出冊数、貸出期間等の具体的な方法案の作成までは至らなかった。  (6) 行動目標「県図書館での障害者、高齢者、外国人などへのサービスを拡充します」に対して、テキストデジターの活用方法の検討にとどまり、具体的な活用には至らなかった。  (15) 行動目標「若年層に向けた新しいイベントを開催します」に対して、「猫」をテーマとしたブックパーティーを開催したが若年層の参加は少数にとどまった。	市町村立図書館への貸出冊数、期間、貸出可能な刊行年等の貸出案を作成する。合わせて、図書館システムの改修が必要になるため、その仕様を作成。  テキストデジターの試作を行い、運用について検討  ①27年度のアンケート結果を生かした魅力的なイベントの開催 ◆新規 ②開館25周年の記念行事の中で若年層向けのイベントを開催	
	2 地域の文化・産業を支える図書館	5			5				
	3 仕事や生活に役立つ図書館	2			2				
	4 若い人に読書の愉しみを伝え知の力を育てる図書館	3			2	1			
	5 生涯学習を支える図書館	3			3				
2 市町村立図書館等への支援	1 資料の提供	1			1				
	2 除籍される資料の保存とあいちラストワン・プロジェクトの推進	1			1				
	3 運営の助言	2			2				
	4 人材の育成	1			1				
3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成	1 「資料搬送・情報」のネットワーク	1			1				
	2 「にぎわい」のネットワーク	1			1				
	3 「人」のネットワーク	1			1				
	4 「危機対応」のネットワーク	1			1				
4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備	1 拠点図書館としての資料の収集と保存	3			3		(35) 行動目標「県図書館での障害者、高齢者、外国人などへのサービスを拡充します」に対して、テキストデジターの活用方法の検討にとどまり、具体的な活用には至らなかった。  (39) 行動目標「県図書館をより多くの方に知っていただくために、従来の広報手法に加えて新しい手法も展開します」に対して、スマートフォン対応ページの追加を試みたがイベント情報など一時的なページ増にとどまった。	テキストデジターの試作を行い、運用について検討  ◆新規 ホームページのスマートフォン対応の拡充に向けて、他館の状況調査を踏まえ、コンテンツを整備	
	2 職員の育成と効率的な組織づくり	2			2				
	3 新たな図書館サービスの調査研究・開発	1				1			
	4 利便性の高い施設づくり	3	1		2				
	5 効果的な広報活動	3			2	1			
項目計		41	2	0	34	5	0		

平成27年度事業の点検・評価及び平成28年度事業計画（詳細）

1 すべての県民への図書館サービスの提供

指標 1 ◆利用登録者数 平成27年度 45,798人  
(平成25年度比 98.4%)

指標 2 ◆遠隔地返却の利用数 平成27年度 2,871冊・点  
(平成25年度比 114.1%)

運営方針		平成27年度				28年度の事業計画
項目	行動目標	事業計画	達成状況	評価		
(1) どこでも、いつでも使える図書館	ア どこでも、いつでも使える図書館	1 協力貸出を申し込んでから届くまでの日数を短縮します	市町村立図書館への搬送便の週2便化を数館で実施	週2便化を昨年度の2館に加え、希望があった7館で試行を開始。この9館では日数の短縮が実現できている。	A	資料搬送の週2便化希望の市町村立図書館9館との試行運用を継続
		2 個人貸出を行っていなかった、地域資料を貸出できるようにします	実施計画に基づき地域行政資料の一部貸出を年度内に試行（新規）	貸出対象となる地域行政資料の選定、装備を完了し、当該資料(約600冊)の貸出試行を開始した。(3月)	C	◆新規 平成28年10月をめぐり、試行(平成28年3月開始)の効果や問題点を確認し今後の方針について検討
		3 雑誌を協力貸出の対象とし、市町村立図書館で利用できるようにします	協力貸出の対象とする雑誌、貸出冊数、貸出期間等の具体的な方法案を作成	協力貸出の対象とする雑誌は製本された雑誌とした。この製本雑誌の各冊データの点検を行ったが、貸出冊数・期間等具体的な方法案の作成までは至らなかった。	D	市町村立図書館への貸出冊数、期間、貸出可能な刊行年等の貸出案を作成する。合わせて、図書館システムの改修が必要になるため、その仕様を作成
		4 遠隔地返却制度の対象範囲の拡大を図ります	新規参加候補の図書館との間で搬送計画を作成	来年度の遠隔地返却システム構築にあわせて対象地域拡大方針を作成した。	C	新規参加候補の図書館との間で搬送計画を作成
		5 デジタル資料を積極的に導入します	①音楽配信サービスの提供 ②「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加	①音楽配信サービスを継続して提供した。 ②貴重和本デジタルライブラリーに新たに28タイトルを追加し、計143タイトルとなった。	C	①音楽配信サービスの提供 ②「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加
	イ 誰でも使える図書館	6 県図書館での障害者、高齢者、外国人などへのサービスを拡充します	①マルチメディアデジターの導入(新規) ②テキストデジターの活用	①寄贈されたマルチメディアデジターの受入れを行い、また編集用ソフトを購入し、研修会で紹介した。 ②テキストデジターについて朗読協力員に情報提供したが、その活用法について検討中であり、活用までに至らなかった。	D	①テキストデジターの試作を行い、運用について検討 ②障害者用資料の拡充を検討 ◆新規 ③障害者サービスに関する企画展示を開催
		7 市町村立図書館との連携を深めます	市町村の図書館職員等を対象とした障害者サービスに関する研修を実施（新規）	「障害者サービス研修会」を実施し、市町村立図書館職員及びボランティア他計79名が受講した。(1月)	C	県教育委員会や関係団体との連携による研修事業を実施
(2) 地域の文化・産業を支える図書館	ア 地域資料の収集・保存・提供	8 地域資料を重点的に収集します(重点分野を年度ごとに決めて収集します)	市町村史誌を重点的に収集	26年度からの継続で、入手可能な市町村史誌を収集し、必要に応じて複本についても収集を行った。	C	◆新規 地域の産業及び文学に関する資料を重点的に収集
		9 ホームページで公開している「貴重和本デジタルライブラリー」を拡充します	「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加（再掲）	貴重和本デジタルライブラリーに新たに28タイトルを追加し、計143タイトルとなった。(再掲)	C	「貴重和本デジタルライブラリー」に引き続き新しいタイトルを追加
		10 地域資料のデジタル化を推進します	市町村の図書館職員を対象とした資料のデジタル化推進に関する研修を実施（新規）	「所蔵資料デジタル化研修会」を実施し、市町村立図書館職員等45名が受講した。(2月)	C	◆新規 地域の産業関係を中心とした資料の購入およびデジタル化を実施
		11 ホームページ内に「愛知県関係資料ポータル」を新設します	「愛知県関係資料ポータル」を公開	ホームページに一般公開を開始した。(3月)	C	H27に開設したポータルサイト内の連携機関リストの拡大、データ・リンク等のメンテナンス及び新規情報の追加
	イ 愛知の産業発展に貢献する資料の提供	産業の発展に貢献する資料を提供します	産業分野に関連する資料を重点的に収集します	愛知のものづくりに貢献する資料を積極的に収集	「ものづくり」に参考となる図書を1,781冊受入れた。	C

# 1 すべての県民への図書館サービスの提供

運営方針		平成27年度				28年度の事業計画
項目	行動目標	事業計画	達成状況	評価		
書仕(3)館事や生活に役立つ図	県民が必要とする情報を速やかに提供するためのサービスの充実を図ります	13 情報の入手に有効なオンラインデータベースを積極的に導入します	新しいデータベースの導入候補の選定	情報提供に資するデータベースについて、情報収集、トライアルなどを行い、導入候補としてMPAC(マーケティング情報データベース)、JdreamIII(科学技術文献情報データベース)及び医学中央雑誌を選定した。	C	昨年度選定したDB3種(MPAC、JDream3、医学中央雑誌)に加え、既導入のDBの見直しを行い、今後の図書館サービスに必要なDBの組み合わせを検討する。
		14 資料の配置や表示をより利用しやすいものにします	①AV室のサイン見直しと案内図の掲示 ②4階フロアの配置とサインの見直し	①AV室の案内掲示を改訂した。また、利用者検索用端末に新たに資料の所在場所を地図で表示させた ②4階フロアでは洋書を集結し、書架上の資料配置を適正なものにした。これに伴い、書架の表示を点検し、見やすいものに変更した。	C	効果的なサインと表示の見直しについて、館内の委員会で検討し必要な改正を実施
若(4)る人に読書の楽しみを伝え知の力を育	児童と大人の間にある若年層に向けて、読書の重要性を呼びかけます	15 若年層に向けた新しいイベントを開催します	見学者へのアンケートなどにより若年層からの意見を聴取し、若年層向けのイベントを開催	体験学習・見学に訪れた学生(中学生以上)にアンケートを実施した。それに基づき「猫」をテーマのブックパーティを開催した。大学生など若年層の参加があったが比較的少数にとどまった。(2月)	D	①27年度のアンケート結果を生かした魅力的なイベントの開催 ◆新規 ②開館25周年の記念行事の中で若年層向けのイベントを開催
		16 インターネットを利用した若年層向けの情報発信を充実します	「てこぼん大賞」の投票など、利用者参加型コンテンツ等を用意	「てこぼん大賞」の投票に、ホームページ上に投票フォームを設置して、インターネットによる参加も可能とした。ツイッター発信などの広報に努めた結果、投票の2割弱がネット参加という結果になった。(9月)	C	「第5回てこぼん大賞」のホームページ投票フォームからの投票の受け付け継続と、PR活動の強化
		17 高等学校など関係機関との連携や支援を実施します	①教育委員会や学校図書館関係者と連携し、学校図書館活性化事業に参画(新規) ②市町村の図書館職員を対象としたヤングアダルトサービス推進に関する研修を実施	①愛知県学校図書館活性化検討委員会に参画し、愛知県学校図書館活性化事業フォーラムの開催に協力した。また、連携事業ではモデル校3校に対して1,068冊、その他3校へ3冊の協力貸出をした。 ②ヤングアダルトサービス研修会を開催し、69名の参加があり、一定の評価を得た。(11月)	C	平成27年度の学校図書館活性化モデル事業の結果を踏まえて、学校図書館への支援を検討
(5)生涯学習を支える図書館	図書館を生涯学習の場として活用できるようにします	18 資料や情報を利用するための力の向上のお手伝いをします	利用者向けに図書館資料に関する講座を開催	調べ方講座「デジタル化資料を探す」を開催し、9名の受講があった。(12月)	C	利用者向けに図書館資料に関する講座を開催
		19 ボランティア活動の機会を提供するとともに、ボランティアとの協働を充実します	①おはなし会サポーターの勉強会を開催 ②大人向けおはなし会の開催	①「読み比べ」をテーマにおはなし会サポーターの勉強会を開催した。(3月) ②企画展示の関連企画として「昭和」をテーマとした大人向けのおはなし会を開催した。(9月)	C	①おはなし会サポーターの勉強会を開催 ②大人向けおはなし会の開催
		20 資料や情報を媒介としたコミュニケーションの場の提供に努めます	利用者参加型イベントを実施	企画展示の関連企画として「武将」をテーマにビブリオバトルを開催し、発表者5名と聴衆17名の計22名の参加があった。(10月) 「猫」をテーマにブックパーティ開催し、9名の参加を得た。(2月)	C	◆新規 開館25周年の記念行事として、利用者参加型イベントの充実

## 2 市町村立図書館等への支援

指標 3 ◆ラストワン参加市町村数 平成27年度 42市町村  
(平成25年度比 113.5%)

運営方針		平成27年度				28年度の事業計画	
項目	行動目標		事業計画	達成状況	評価		
提資(1)の	広域的な観点に立って資料の提供・保存に取り組みます	21	県内の図書館の所蔵資料に関する情報を迅速・的確に入手できるようにシステム等を整備します	雑誌・新聞総合目録システムの改良とデータの更新	県内図書館に、図書館システムを用いた新方式によるデータ更新を依頼して、8月に目録が完成した。	C	雑誌・新聞総合目録システムの速やかなデータ更新と確実なメンテナンスを継続
クンい料除(2)のプラ保さの推ロス存れ進ジトとるエワあ資		22	県内最後の1冊となる資料を保存します	ラストワン資料の整理・受入を継続するとともに、参加館を拡大	①参加館は26年度より3市町村で増えて42市町村となった。(6市町の図書館が未参加) ②16の参加館から855冊のラストワン資料を移管した。	C	あいちラストワン資料の受入・整理の継続と参加館拡大
(3)言運営の助	市町村立図書館等がより質の高いサービスを提供できるよう、運営を支援します	23	県図書館へのニーズを把握するため、職員による市町村立図書館訪問を実施します	市町村の中央図書館の1/3(16館)以上訪問	職員による市町村立図書館訪問を16館実施した。その他に、会議出席が6館、研修講師派遣を8館に対して実施した。	C	市町村の中央図書館の1/3(16館)以上訪問
		24	図書館未設置町村の公民館図書室への支援を充実するとともに、自治体の理解を促します	図書館が設置されていない町村の公民館図書室等を訪問し読書活動の推進を働きかける	図書館未設置の豊山町と大治町を訪問し、支援に対する要望等の聞き取り調査を行った。	C	図書館が設置されていない町村の公民館図書室等を訪問し読書活動の推進を働きかける
(4)成人材の育		25	市町村立図書館の人材育成を支援します	①県教育委員会や関係団体との連携により研修事業を実施 ②市町村立図書館職員等を対象とした障害者サービス・デジタル化推進・ヤングアダルトサービス推進に関する研修を実施(新規)	①県教育委員会が当館で開催した学校図書館活性化事業フォーラムに協力した。(2月) ②ヤングアダルトサービス研修会(11月)に69名、障害者サービス研修会(1月)に79名、所蔵資料デジタル化研修会(2月)に45名の参加を得た。	C	①県教育委員会や関係団体との連携による研修事業を実施 ◆新規 ②市町村立図書館職員等を対象としたデジタル化推進の研修を実施

## 3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成

指標 4 ◆県内及び東海・北陸地区の協力貸出・相互貸借数 平成27年度 67,659冊・点  
(平成25年度比 110.8%)

運営方針		平成27年度				28年度の事業計画	
項目	行動目標		事業計画	達成状況	評価		
ワネ報送(1)の情料搬	個々の図書館では実施できないサービスの充実を図ります	26	効率的な資料搬送ネットワークにより相互貸借体制を維持・発展させます	福井県立図書館との協定締結による東海北陸地区の定期搬送便の拡大(新規)	福井県立図書館と7月1日に協定書を交わし、正式に定期搬送便の運行を開始した。これにより東海北陸地区の相互貸借資料の搬送ネットワークが完成し、県外への協力貸出数が大幅に増加した。(対前年度比129%)	C	①東海・北陸地区の定期便を継続する ◆新規 ②静岡県立図書館との定期便運行の試行開始
ワネい(2)のぎわ	新たなネットワークづくりに力を入れ、サービスの輪を広げます	27	県内図書館等と連携したイベントの充実を図ります	県内公立図書館連携イベントとして「@ライブラリー」を開催し、共同で広報を実施	県内図書館共通イベント@ライブラリーとして、「虫の世界へ」は36館47イベント、「徳川家康 没後400年にあたって」は16館19イベントが実施された。	C	◆新規 ①博物館・美術館、公文書館、市町村立図書館等とのMLA連携推進についてのフォーラムの開催 ②県内公立図書館連携イベントを開催し、共同での広報を実施
ワネ(3)の		28	図書館の関連機関との人的な連携を深めていきます	大学や行政機関と協力し、講演会や資料展示などのイベントを実施	①企画展示「大人の教養」に関連して愛知県美術館の学芸員によるミニレクチャーを開催した。(5月) ②県統計課と国勢調査20回を記念したキャンペーン活動を実施し、関連のミニ企画展示を開催した。(9月)	C	◆新規 県内図書館、博物館・美術館、公文書館等の地域の文化芸術資源を保管・活用している機関で、MLAに関する検討会議を開催
ワネ応(4)の機対		29	県内外の図書館や図書館関係団体等との連絡調整に努めます	東海北陸地区図書館協議会等を通して関係を強化	①東海北陸地区県立・指定都市立図書館長会議にて各館から出された協議事項について、報告と意見交換を行った。(9月) ②東海北陸地区公共図書館研究集会に2名を派遣した。(10月)	C	◆新規 平成29年度に当館で開催予定の東海北陸地区公共図書館研究集会の実施計画を策定する

4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備

指標 5 ◆インターネットアクセス数 平成27年度 1,321,333回  
(平成25年度比 100.2%)

運営方針		平成27年度				28年度の事業計画
項目	行動目標	事業計画	達成状況	評価		
(1) 拠点図書館としての資料の収集と保存	の多様な資料の収集	30 資料収集計画を策定し、市町村立図書館では購入しにくい資料などを計画的に収集します	県立図書館として必要な資料を精選して収集するための年度計画を策定し、計画的に収集	県立図書館として必要な資料を精選するため、蔵書構成のバランスと重点収集を考慮した平成27年度資料収集計画を策定し、計画的に資料収集を実施した。(通年)	C	◆新規 県立図書館として必要な資料やデジタル化対象資料を収集するための年度計画を策定し、計画的に収集
	料デジタル資料への対応	31 デジタルで利用可能な資料への対応を図ります	①国立国会図書館デジタル化資料の閲覧等の開始(新規) ②新規にデジタル化する古書等の候補の選定	①国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供を開始した。(5月) ②デジタル化する所蔵古典籍の候補の選定を完了した。	C	①国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供 ◆新規 ②地域の産業関係を中心とした資料の収集およびデジタル化を実施
	保資料の保存	32 資料の補修の方針を策定し、計画的に実施します	資料補修方針を策定	資料補修方針の策定を完了した。(3月)	C	27年度に策定した資料補修計画に従い、必要な補修を実施
(2) 職員の育成と組織づくり	職員の育成	33 人材の育成に努めスキルアップを図ります	①障害者サービス・デジタル化推進・ヤングアダルトサービス推進に関する研修を実施(新規)(再掲) ②館内レファレンス研修を10回実施	①ヤングアダルトサービス研修会・障害者サービス研修会・所蔵資料デジタル化研修会を開催し、当館職員を参加させた。 ②館内レファレンス研修会を10回実施した。	C	①デジタル化推進の研修等に参加。館内レファレンス研修を10回実施 ◆新規 ②新規採用職員育成プランの作成。司書職員全体の育成計画の見直しと研修計画の作成
	り組織の効率化	34 組織運営の点検・見直しを行い、改善を図ります	平成28年度以降の適正な人員配置計画を策定	協力業務体制を見直しにより、嘱託員を有効に配置替えして、全館の作業効率化を図った。	C	適正な人員配置によるサービスレベルの維持と専門的スキルの継承を目指す
開発(3) 新たな調査研究	県民や市町村立図書館の意見を踏まえ、新しい方向性を探ります	35 新しい図書館サービスを調査研究し、先進的なサービスを試行します	①マルチメディアデジターの導入及びテキストデジターの活用(再掲) ②来館しなくても利用できるサービスなどの先進事例の情報収集	①寄贈されたマルチメディアデジターの受入れを行い、また編集用ソフトを購入し、研修会で紹介した。テキストデジターについて朗読協力員に情報提供したが、その活用法について検討中であり、活用までに至らなかった。(再掲) ②図書館総合展に参加して、資料のデジタル化や電子書籍などの先進事例を調査した。(11月)	D	テキストデジターの試作を行い、運用について検討 先進事例の調査の継続及び収集した情報を元に新サービスを検討
		(4) 利便性の高い施設づくり	快適・安心な施設づくり	36 居心地良く快適に利用できるよう、施設環境を整備します	①閲覧席の椅子座面の修繕を順次実施 ②利用者の要望を踏まえ快適な環境づくりの方策を検討	①机椅子の修繕計画に従い、修繕を完了した(3月)、薬品を使った閲覧機の清掃回数を増加した。 ②利用者の要望により、5階飲食スペースに一人席を設置した。(9月)
くをサイ	37 安心して利用できるよう、施設の点検・修繕を計画的に行います		①冷温水発生器の修繕 ②無停電電源装置の更新	①冷温水発生器を修繕をした。(7月) ②無停電電源装置を更新した。(2月)	C	◆新規 非常用充電機点検設備、自動火災報知設備改修工事を実施
くをサイ	38 サービスの水準を高めるのに必要な機能の整備に努めます		①閉架書庫の電動集密書架の保守体制の見直し ②優先順位を考慮した整備のための方針の策定	①今後の電動集密書架整備計画の基礎となる点検を実施することとなった。 ②計画的な施設整備の目途がたったことを受けて3か年の全館の施設整備計画書を作成した。	A	◆新規 電動集密書架の点検と一部分の改修工事の実施(新規)

#### 4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備

運営方針		平成27年度				28年度の事業計画	
項目	行動目標		事業計画	達成状況	評価		
(5) 効果的な広報活動	広報手法の多様化	県図書館をより多くの方に知っていただくために、従来の広報手法に加えて新しい手法も展開します	39 スマートフォン対応のホームページを整備します	スマートフォン対応のページ増を検討	各種イベントの申込みや「てこぼん大賞」投票フォームなどの対応ページを追加したが、イベントなど一時的なページ増にとどまった。	D	◆新規 ホームページのスマートフォン対応の拡充に向けて、他館の状況調査を踏まえ、コンテンツを整備
	利用者が集まる場所の確保	利用者の読書活動を支援する機能の充実に努めます	40 ホームページに子どもの読書活動を支援するページを設置します	子どもの読書活動を支援するページを順次拡充	「子どもと本をつなぐ本のリスト」、「おはなし会で読んだ本のリスト」を作成し、公開した。(3月)	C	子どもの読書活動を支援するページを順次拡充
	他機関との連携による情報発信	情報発信を新たなサービスの検討に活かします	41 他機関と連携して互いの開催の情報を発信します	①市町村立図書館等と連携した広報 ②他機関と連携した講演会や資料展示を通じて情報発信	①市町村図書館と連携して@ライブラリーを2回実施した。 ②愛知県美術館の「月映」展(5月)や「ピカソ、天才の秘密」展(1-3月)に関する資料展示や講演会を通じて互いの開催のPRを行った。	C	①市町村立図書館等と連携した広報の実施 ②他機関と連携した講演会や資料展示を通じての情報発信